

2025 年 10 月 15 日

2025 年度第 3 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2025 年度第 3 四半期決算を発表しました。

第 3 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、前年同期における 69 億ドルに対し、85 億ドルとなりました。
 - 希薄化後 1 株当たり利益は、前年同期における 0.81 ドルから 31%増加して 1.06 ドルとなりました。
- 収益(支払利息控除後)は、純受取利息、投資銀行事業手数料、資産管理手数料並びに販売及びトレーディング収益の増加を反映し、11%増加して 281 億ドル(FTE ベースで 282 億ドル)となりました。
 - 純受取利息は、9%増加して、152 億ドル(FTE ベースで 154 億ドル)となりました。これは、グローバル・マーケット事業に関連する純受取利息の増加、固定利付資産の金利更改、並びに預金及び貸出金残高の増加が、金利低下の影響により一部減殺されたことに起因します。
 - 5 四半期連続で純受取利息が増加しました。
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 3 四半期の 15 億ドル及び 2025 年度第 2 四半期の 16 億ドルから減少して、13 億ドルとなりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 3 四半期及び 2025 年度第 2 四半期の 15 億ドルから減少して、14 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、収益に関連する費用並びに人材、ブランド及び技術への投資の増加に起因し、5%増加して 173 億ドルとなりました。営業効率は、329 ベーシス・ポイント改善して 62%となりました。
 - 2025 年度第 2 四半期から 1%上昇しました。これは、主として人材及び技術への投資、並びに収益に関連する費用の増加に起因しました。
- 平均普通株主持分利益率は、11.5%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、15.4%となりました。
- 平均資産利益率は、0.98%となりました。

- バランスシートは引続き堅調
 - 平均預金残高は、4%増加して 1.99 兆ドルとなり、9 四半期連続の増加となりました。
 - 平均貸出金及びリース金融残高は、全事業セグメントで増加したため、9%増加して 1.15 兆ドルとなりました。
 - 平均グローバル流動資金は、9,610 億ドルとなりました。
 - 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2025 年度第 2 四半期から 1%増加して、2,030 億ドルとなりました。
 - CET1 比率は、11.6%(標準的アプローチ)となり、最低所要自己資本比率を大きく上回りました。
 - 21 億ドルの普通株式配当及び 53 億ドルの株式の買戻しにより株主に対して 74 億ドルを還元し、四半期普通株式配当を 8%増額しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、7%増加して 37.95 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、8%増加して 28.39 ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。